

校長室から
(R元年度)

ひがしなら通心

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 19
令和元年7月5日(金)発行

夢の実現への近道とは...

7月7日(日)は七夕です。織姫と彦星が1年に1度だけ会うというお話を聞いたことがあるでしょう。また、願い事を書いて笹竹に飾る風習も広く親しまれています。みなさんも願いを、笹竹につけたことがあるのではないですか。



ところで、「流れ星に3回願いをかければ願いが叶う」というお話を聞いたことがありますか。これにはこんな言い伝えがあります。それは「空に神様がいて、神は時々下界の様子を確認するために、こちらをそっとのぞくときに、もれる光が流れ星。だから、その時に願い事を口にすれば、その声はきっと神様に届き、願い事が叶(かな)う」というのです。では、流れ星伝説にちなんで、願いが叶う方法のお話です。

始めに「想(おも)いは招(まね)く」という言葉を紹介しします。夢を実現するには、願いを強く持ち続けることが大切だということを表現しています。流れ星を見つけたその一瞬に、願う言葉が言えるくらい強い心に思い続けるのです。その願いは「〇〇になりたい!」等、具体的な方がいいです。思い続けることが、日々努力していく姿勢になり、夢の実現につながります。時には「〇〇したい」という願望を、さらに一歩踏み出して「絶対〇〇する、〇〇になる」という断定調で表現してみるのもいいでしょう。「想いは招く」とは、そういう言葉です。

二つ目は、「願いを言葉にして口にすること」です。「叶う」という漢字は、「口」に「十」と書きます。言葉にして口にすると、いいことが起こります。たとえば、ふだんからやりたいことを口にすることを習慣にしていると、周りの人も聞いてくれますが、誰よりも他ならぬ自分自身がその言葉を繰り返し耳にします。するとどうなるか。自分自身で「私はこれをやりたいんだ!」と自分の夢を強く意識するようになります。これが夢の実現の近道なのです。

暑い夏がもうすぐやって来ます。この夏は、言葉を大切に生活してください。特に「どうせ無理!」等、後ろ向きの言葉はいけません。「心を入れ替えて」がんばるという言い方がありますが、「言葉を入れ替えて」に変えてがんばってみてください。そして「こんな自分になる」と強く願い、努力してみましよう。この夏を制し、たくましく成長しましょう。

ひ とつにみんなでまともろう!
が くりょくと体力をのばそう!
し っかりせいかつしよう!
な かよく友だちとすごそう!
ら んらん夢に向かう東奈良っ子!

あ いさつができる子
い っしょうけんめい勉強する子
う んどうが好きな子
え がおでやさしい子
お そうじをがんばる子

マシュマロテスト

小さな子の前にマシュマロを置いて、大人が部屋から出て行きます。その時に、こう言います。「すぐに食べてもいいですよ。でも、私が戻ってくるまで、がまんできたらマシュマロをもう一個あげます」

さあ、みなさんならどうしますか? すぐに食べますか? 大人の人が帰ってくるのを待って、二個のマシュマロをもらいますか?

この実験には、その後があります。すぐにマシュマロを食べてしまった子とがまんして二個もらった子が将来、どのような生活をしているかを調査したのです。その結果、お金持ちになって立派な車に乗っていたのが多かったのは、がまんして二個もらった子だったそうです。これは、小さな頃からがまんする心が育っていると、それが将来にわたって役に立つということです。

学校生活でもがまんすることがいっぱいあります。順番を守ること、廊下を走らないこと、間違えても腹を立てないこと、などです。でも、「ぼくはがまんするのが苦手だから」と思っている人はいませんか。安心してください。がまんする力は、生まれつきのものではなくて、本人の努力で身につけていくものなのだそうです。イライラとしたときに、少しがまんしてみる。投げだそうと思ったときに、がんばって続けてみる。こうしたことの積み重ねで、がまんする力がついていくそうです。

『マシュマロテスト ～成功する子、しない子～』ウォルター・ミシェル

みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」 ロン・クラーク 草思社

ルール20 授業中は許可なく席を立たない

席を立っていいのは、手をあげて指名されたとき、質問に答えるとき、先生の指示があったときだけだ。それ以外は、おしゃべりもいけない。

●授業中にかけてに立って歩いたりおしゃべりをすれば、クラスみんなの気が散って、授業ができなくなる。ひとりひとりが集中して授業を受けられるように、きみもちゃんと座って、先生の話をしっかり聞こう。